

第2回学校運営協議会（兼 児童生徒をまもり育てる協議会）

令和6年6月20日

<協議題>

(1) 児童生徒をまもり育てる日について（事務局）

- ・設定の趣旨、目的、活動日、活動内容について説明

学校、PTA、地域、警察等関係機関との連携のもと、子ども達の安全を守る取組を推進する。

活動日は、県内一斉の活動日となっており、入学の日、7月5日、11月5日の三日間である。

(2) 学校生活アンケート結果から（生徒指導主事）

- ・5月の生活アンケート結果の報告

学校は、楽しい35人 普通9人 いいえ0人

運動会に向けて一生懸命頑張っており、今のところ、学校生活にほぼ満足して生活していることが分かる。

5、6年生になると、スマートフォンも持つ児童が増え、SNSを視聴したり、友達とLINEなどで連絡を取り合ったりするなど、スマホ依存傾向のある児童が見受けられる。中には、1日に2時間以上、使用している児童もいる。そのため、家庭でのルール作りや親の目から離れすぎないような環境づくりが大切だと思われる。

(3) 本校の児童を守る取組

熟議（グループ協議）

○自己紹介

○児童の行動等、気になること

○児童の交通安全について（歩き方、自転車の乗り方など）

○閉校後の児童の安全確保について

(A班)

公民館を自宅のように使っている。

白浦堤防からの飛び込み

閉校後の管理、草刈等について

跡地利用、公民館の夏休みの開放

(B班)

閉校後において、公民館活動を中心に、しめ縄作り、ゲートボール大会などを継続していくことが大切である。

登下校中の列は良くなってきた。

学校から離れた場所では、自転車で道のまん中を通ることがある。

(C班)

2年生が1年生の下校を手伝っている。

自転車で曲がる時に、後ろを見ない子もいる。バサコの峠が一番怖い。

公民館の使い方においては、自宅のような気持ちで使っている子がいる。保護者が知らないのが問題である。親同士のかかわりがあれば注意しやすい。

閉校後、定期バスに乗る子が心配である。最初は、特に各停留所で降りてからが心配である。バスになると、挨拶もできないし、体力も減るのではないか

(D班)

1年生がよく公民館を利用している。

水泳練習、習いごと、塾等忙しく体調面の心配がある。

登校の仕方は良くなってきている。

グリーンベルトが薄くなってきている場所がある。

閉校後の定期バスの利用においては、日頃バスに乗らない児童(特に低学年)においては、降車後の安全ルール作りも必要ではないか。

地域と子どもがつながるためにも、盆踊りやわんぱく広場等地域行事の参加を学校からも積極的に呼びかけてもらいたい。

<学校評価>

(1) 学校評価の趣旨説明

事務局

7月実施のアンケートは2学期の学校運営に、12月実施のアンケートは3学期の学校運営にそれぞれ生かしていく。

(2) その他

○運動会を振り返って

事務局

子ども達の意見を取り入れて実施した。

熱中症になる児童はいなかった。予防のための冷やしタオルは保育園にも提供していただき、好評であった。

地域の人達にも、玉津小のTシャツたくさん購入していただいた。

最後の運動会が、地域の人達にも好評であった。

夏休みの取組として、今年度はラジオ体操をやめる。ただし、PTAや地域、または個人として実施するのはかまわない。

7月16日は、海のイベントとして、子ども達の意見をきいて、海遊びを実施する。

公民館事業として9月に、明浜でサップ体験教室を小学校と実施する予定である。

防災教室等公民館行事と合同で実施できるものには協力する。

統合後は制服でなく自由服になるため、閉校にむけて自由服でもかまわない方向でPTA役員会で提案し、保護者の理解を得るようにしたい。